

プレーバック 2014

東日本大震災から4年目となり、復興まちづくり基本計画の「中期」を迎えた平成26年。釜石の一年間を、本紙の「まちの話」などで紹介した出来事を中心に写真とともに振り返ります。

1月



1月18～19日 ▶ 冬の味覚まつり
友好都市物産展などのほか、東海市の協力で「ラグビーワールドカップ2019」にちなみ、長さ20.19mのロールケーキ作りも行われました。



1月5日 ▶ 消防出初め式
約660人の消防団員らによる分列行進が、3年ぶりに大町目抜き通りで行われました。



1月15日 ▶ するめっこ釣り
尾崎白浜地区恒例の小正月行事で、漁師に扮した地区の児童たちは、釣りざおを手に家々を巡りました。

2月



2月2日 ▶ 新春 韋駄天競走
迅速な高台避難と節分行事を融合させたイベントで、参加者たちは市街地から高台の境内までの坂道を一気に駆け抜けました。

3月11日 ▶ 東日本大震災犠牲者追悼式
釜石高校体育館で行われた式では、午後2時46分の参列者全員による黙祷や献花などが行われ、犠牲となられた方々の冥福を祈りました。



3月



2月16日 ▶ スポーツチャンバラ大会
参加者たちはエアソフト剣を手に、互いに相手の一瞬のすきを狙う見ごたえのある攻防を繰り広げました。



3月23日 ▶ 第4回釜石復興全国虎舞フェスティバル
オープン間もない大町の大型商業施設前特設ステージで、市内外の虎舞10団体が力強い舞を披露し、多くの来場者を魅了しました。

4月

4月5日 ▶ 三陸鉄道が運行再開
震災の甚大な被害を乗り越え、三陸鉄道が3年ぶりに全線運行を再開し、沿線各駅では歓迎行事が行われ喜びと祝福に沸きました。



4月12日 ▶ JR釜石線でSL運行開始
震災復興支援として、花巻―釜石間でSL運行が開始されました。花巻からの一番列車が釜石駅に到着すると、多くの人たちが歓声と拍手で出迎えました。

4月1日 ▶ 釜石消防署新庁舎が完成

震災で大渡町の庁舎が被災した釜石消防署の新庁舎が鈴子町に完成し、4月1日から業務を開始しました。



4月27日 ▶ 唐丹地区郷土芸能祭

三陸鉄道南リアス線の運行再開、被災した唐丹地区郷土芸能団体の復活を記念し、地区内6団体による競演が行われました。



5月

5月5日 ▶ 陣屋まつり

東前町、浜町・尾崎町内会主催の浜の伝統行事が、「子どもの日」に合わせて復活開催され、大漁旗はためく下で世代間交流を楽しみました。



5月18日 ▶ 館山神社大祭典

震災後初めてとなった大祭では、みこしなどの行列が復興への願いを込めてにぎにぎしく平田地区内を渡り歩きました。

5月25日 ▶ 馬と散歩しよう!

橋野町で開催されたホーストレッキングで、親子連れの参加者たちは、餌をやったり、なでたりしながら、最後には乗馬を楽しみました。



6月

6月28日 ▶ ほたるの里まつり

ほたるの生息地・小川をアピールし、地域の交流を深める機会として、昨年に続いて開かれ、3人の「ほたる娘」が選ばれました。



6月15日 ▶ 「みんなのひろば」開所

市内4棟目が鶴住居小・釜石東中にオープン。鉄骨造2階建てで、スポーツやコミュニティ活動の拠点となる施設完成を喜び合いました。



6月8日 ▶ 釜石百人会議

よりよい釜石の未来に向けて、世代や立場を超えて多くの人たちが対等の立場で活発な議論を交わしました。

11月



11月2日 ▶ 釜石うみやま郷土芸能大競演祭
 鶴住居川流域と箱崎半島の13団体が、地域の郷土芸能を絶やすまいと、情熱と誇りを踊りに表現し、惜しめない拍手が送られました。

10月17～19日 ▶ 釜石まつり
 曳き船まつりには12隻が参加し、鮮やかな大漁旗をはためかせ海上をパレード。翌日の市内渡御では、みこしや虎舞、神楽などが沿道を魅了しました。



11月8・9日 ▶ 観光馬車運行実験
 釜石ハローホースクラブが、新たな観光資源の可能性を探ろうと、市街地と鶴住居地区で観光馬車を運行しました。



12月5日 ▶ 「タウンポート大町」グランドオープン
 商業とにぎわいの拠点と位置付ける大町のフロントプロジェクト1地区に、集成型商業施設「タウンポート大町」がグランドオープンしました。



12月



10月26日 ▶ 第5回かまいし仙人峠マラソン大会
 全国から参加した約1000人ランナーたちが、紅葉色づく厳しい急勾配が続く峠路に挑み、ゴール目指して疾走しました。

10月

10月31日 ▶ ラグビーワールドカップ2019大会に立候補
 ラグビーワールドカップ2019大会組織委員会に対し、市と県共同による開催希望申請書を提出しました。



7月30日 ▶ 釜石鉱山坑道見学会
 トロッコによる坑道見学では、参加者たちは天然の冷蔵庫のような空間で、貴重な体験を楽しんでいました。



7月



7月20日 ▶ 夏の港まつり
 あいにくの雨となり、シープラザ遊に場所を移して音楽ライブが行われ、悪天候を吹き飛ばすような大盛り上がりを見せました。

7月18日 ▶ 尾崎白浜コミュニティー番屋が完成
 釜石湾漁協が日本財団の支援を受けて整備し、地域念願の地域住民交流拠点施設の完成を喜び合いました。



8月9日 ▶ 釜石よいさ
 夏の風物詩が8月に帰ってきました。時折雨に見舞われたものの、約1400人の「さーさ、よいやさ！」の音が市街地に響き渡りました。



8月



8月4日 ▶ 海水浴&シーカヤック体験
 震災後しばらく海に近づけなかった子どもたちのためにと、唐丹公民館事業として大石海岸で行われ、子どもたちは海を満喫しました。



8月3日 ▶ 釜石はまゆりトライアスロン大会
 4年ぶりにスイム・バイク・ランの3種目復活した大会に国内から約130人が参加し、2年後の国体成功に向けて大きな弾みとなりました。

9月

9月9日 ▶ 吉浜釜石道路荒川トンネル着工
 2016年1月の貫通、同年8月の完成を目指し、唐丹町片岸のトンネル北側坑口で関係者がくわ入れを行い、工事の安全を祈りました。



9月27日 ▶ はしの四季まつり～ニジマス釣り大会～
 家族連れなどが、川に放たれたニジマス釣りを釣り上げたり、炭火で調理された焼きたてを味わったりして楽しみました。

9月20日 ▶ 釜石街コン遊
 にぎわいや若者の交流・出会いの場創出に開かれたイベントには、市内外から約100人の成人男女が集まり、飲食と会話を楽しみました。



2014年(1～11月号)の表紙を飾ってくれた市民の皆さんです。

広報かまいし